

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院脳神経血管内治療科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

- ・2013年1月1日 ～ 2020年4月30日の間に、頭蓋内の硬膜動静脈瘻に対して血管造影検査及び治療が行われた方

が対象となります。

【研究課題名】 Clinical significance and angiographic features of pial arterial supply to intracranial dural arteriovenous fistulas: a multicenter retrospective study

(頭蓋内硬膜動静脈瘻における硬膜内脳動脈からの供血の血管構築とその臨床的重要性：多施設共同研究)

### 【研究の目的・背景】

硬膜動静脈瘻とは、硬膜という脳を覆う膜の部分で動脈と静脈が直接交通し、圧の高い動脈の血液が静脈に流れ込む病態です。このため脳出血などの重篤な症状を来すことがあり、その診断と治療は重要です。治療法としては血管内治療（塞栓術）、開頭手術、放射線治療などがあり、最近では開頭手術をすることなく根治が得られることから血管内治療が選択される機会が増えていきます。血管内治療による病気の根治性や危険性は動静脈瘻を形成している動脈・静脈の血管の種類やその構築により異なります。硬膜内脳動脈からの供血されている場合（pial arterial supply）には、血管内治療で根治を得ることが難しく、かつ合併症のリスクも高いことが推測されます。しかし、これまで、硬膜内脳動脈から供血される硬膜動静脈瘻に関してその血管構築や治療成績を検討した報告は殆どありません。本研究の目的は、硬膜動静脈瘻における硬膜内脳動脈からの供血とその血管構築、血管内治療の治療成績との関連を明らかにすることです。さらに、本研究によりある一定の血管構築のパターンと治療リスクに関連が発見されれば、個々の患者さんに応じてより安全な治療を施行することが可能となることが期待されます。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年8月21日 ～ 2023年4月30日

### 【単独／共同研究の別】

多施設共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は研究事務局である 京都大学医学部脳神経外科学教室 石井暁 のもと論文発表後 10 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえただうえで、ファイルにパスワードを設定した上で京都大学医学部へメールで提供し、パスワードは別メールで送付する形といたします。また、MRI などの画像ファイルは DVD またはハードディスクで京都大学医学部に郵送いたします。

研究事務局及び相談窓口：

京都大学医学部 脳神経外科学教室

住所：京都府京都市左京区聖護院川原町 54 電話：075-751-3459

【利用する診療情報】

本研究では患者さんの既に施行されている画像検査・治療手技の情報とカルテに記載されている診療情報を調査・解析します。臨床情報は診断名、症状、年齢、性別、手術記録、臨床転帰で画像検査は血管造影検査および治療前後の MRI,CT です。臨床情報は匿名化され研究事務局（京都大学脳神経外科学教室）にメールで送付され、画像データは DVD またはハードディスクで郵送され同教室にて保存されます。画像評価・解析は、匿名化された画像情報を本研究の複数の画像判定委員が事務局に集まり行います。

【研究代表者】

大分大学医学部附属病院放射線部 清末 一路

【虎の門病院における研究責任者】

脳神経血管内治療科 鶴田和太郎

【利用する者の範囲】

研究協力施設（50音順）：

研究分担者 聖路加国際病院神経血管内治療科 新見 康成  
筑波大学脳神経外科脳卒中予防・治療学講座 松丸祐司  
岡山大学脳神経外科学講座 平松匡文  
東海大学脳神経外科学講座 Kittipong Srivatanakul  
国立循環器病センター脳神経外科 佐藤 徹  
藤田保健衛生大学脳卒中センター 中原一郎  
富山大学脳神経外科学講座 秋岡 直樹  
大分大学放射線科 井手 里美  
昭和大学藤が丘病院脳神経外科学講座 津本智幸  
虎の門病院神経血管内治療科 鶴田和太郎  
小倉記念病院脳神経外科 波多野武人  
広南病院血管内脳神経外科 佐藤健一  
永富脳神経外科病院放射線科 堀 雄三  
神戸中央市民病院脳神経外科 今村 博敏  
トロント大学放射線科 Timo Krings

情報提供元機関：

聖路加国際病院神経血管内治療科部長 新見 康成  
筑波大学脳神経外科脳卒中予防・治療学講座教授 松丸祐司  
岡山大学脳神経外科助教 平松匡文  
東海大学脳神経外科講師 Kittipong Srivatanakul  
国立循環器病センター脳神経外科医長 佐藤 徹  
藤田保健衛生大学脳卒中センター教授 中原一郎  
昭和大学藤が丘病院脳神経外科教授 津本智幸  
虎の門病院神経血管内治療科部長 鶴田和太郎  
小倉記念病院脳神経外科部長 波多野武人  
広南病院血管内脳神経外科部長 松本康史  
永富脳神経外科病院放射線科部長 堀 雄三  
京都大学脳神経外科 講師 石井 暁  
富山大学脳神経外科 講師 秋岡 直樹  
神戸中央市民病院 医長 今村 博敏  
久留米大学放射線医学講座 講師 田上秀一  
トロント大学放射線科 教授 Timo Krings

研究事務局 京都大学脳神経外科学講座 石井 堯  
京都大学脳神経外科学講座 大川 将和

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身・ご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2021年4月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 脳神経血管内治療科 ・ 鶴田和太郎

電話 03-3588-1111(代表)